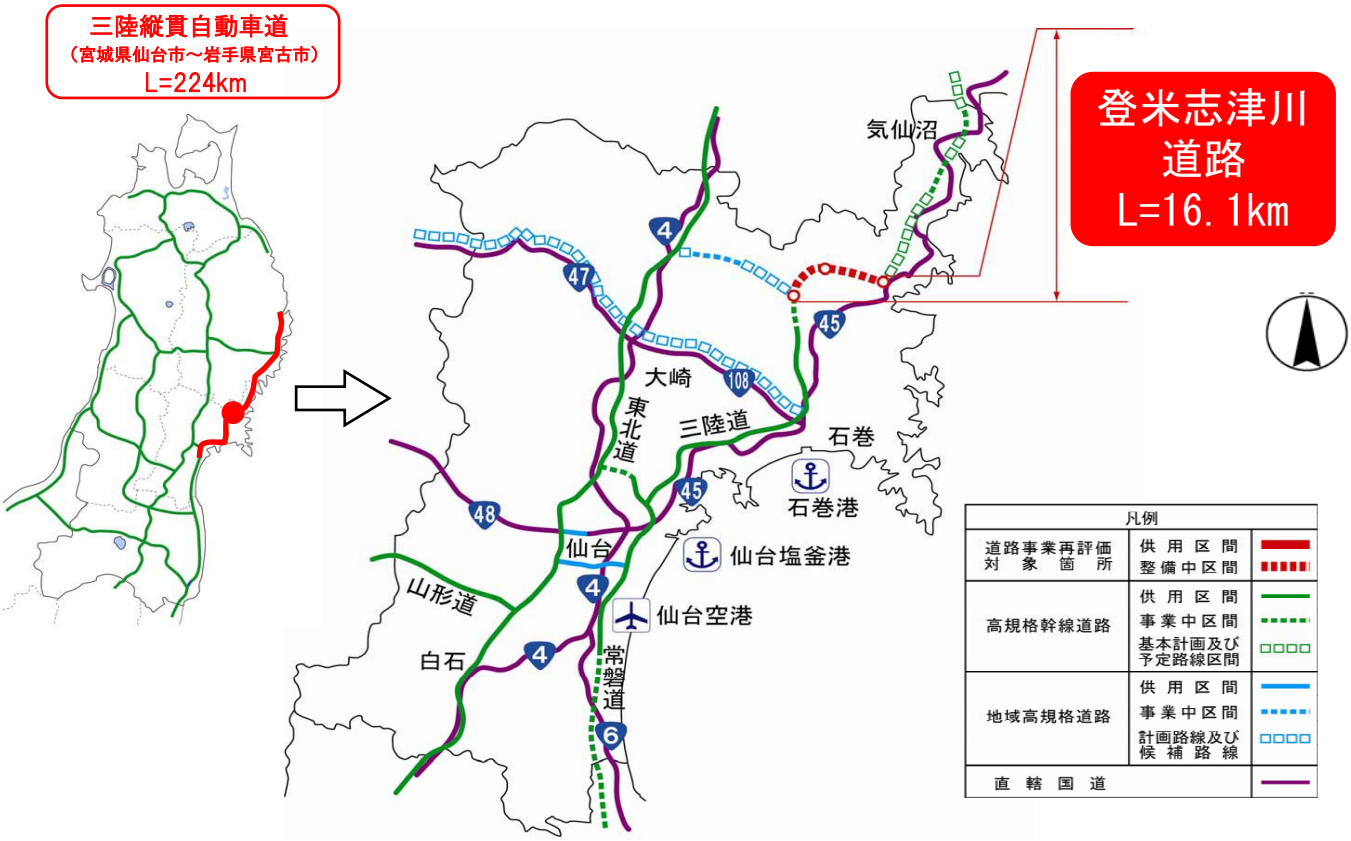
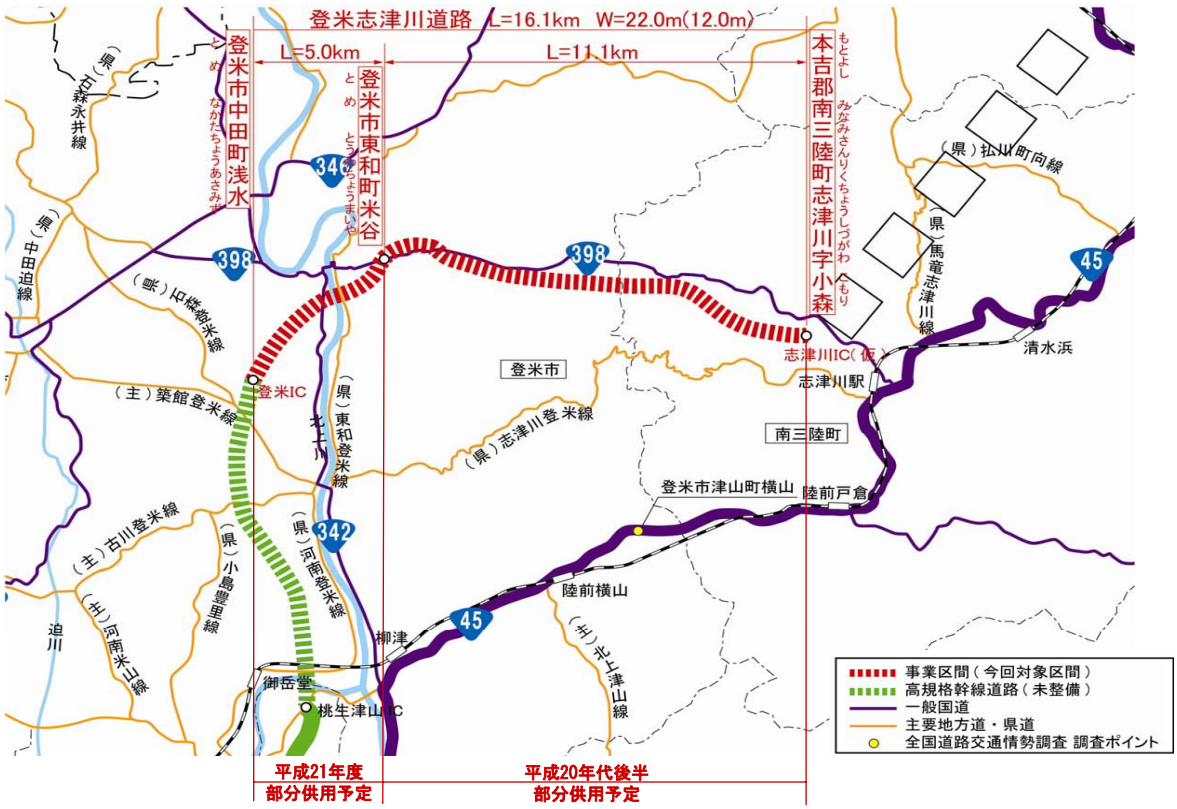
一般国道４５号　登米志津川（とよましづがわ）道路



事　業　実　施　状　況



一般国道４５号　登米志津川（とよましづがわ）道路

【評価要件：前回再評価後５年経過】

○事業の目的

・三陸沿岸地域の交流・連携の促進
・災害時におけるリダンダンシーの確保
・高次医療施設へのアクセス向上

○延　長：Ｌ＝１６．１ｋｍ

○事業費：（完成）550億円　（暫定）390億円

○事業化：平成６年度

○進捗率：（完成）２５％　（暫定）３６％

事　業　の　投　資　効　果

○費用便益比（Ｂ／Ｃ）

※下表の数値は、基準年（平成20年）における現在価値に換算した金額を記載

【残事業】

費用Ｃ（現在価値）	*298億円*
便益Ｂ（現在価値）	*799億円*
費用便益比　Ｂ／Ｃ	*2．7*

計画交通量（平成42年度）
・登米志津川道路＝13，600台/日　・現道＝2，900台/日

（参考）

費用便益比（Ｂ／Ｃ）

【前回再評価時のＢ／Ｃ】
【残事業】２．６　【全　線】２．５

【今回再評価時のＢ／Ｃ】
【残事業】２．７　【全　線】１．６

（前回再評価時の計画交通量）
登米志津川道路＝１４，０００台／日
現道　　＝　１，８００台／日
（今回再評価時の計画交通量）
登米志津川道路＝１３，６００台／日
現道　　＝　２，９００台／日

対　応　方　針　（　原　案　）

○早期整備の必要性が高い。

・三陸沿岸地域の交流・連携の促進

・災害時におけるリダンダンシーの確保

・高次医療施設へのアクセス向上

○地元自治体等からの事業促進の要望がある。

事業を継続実施